

超音波式流速測定機器の開発に関する共同研究

1 課題を抱える業務の内容

配水管の延長は、約28,000kmにも及ぶことから、継続的かつ計画的に更新していく必要があります。更新にあたっては、配水管の流量や圧力を計測し、管網解析を行うことにより適切な配水管径に見直しを行います。

2 課題の詳細

流量計測の箇所が多いほど管網解析の精度が高まるため、新たな流量計の設置を検討しておりますが、流量計室の新設が必要であり、土工事が発生するため、埋設物の輻輳等により設置場所が制限されることや、設置費用が課題となっています。

消火栓機能を確保しつつ計測可能なコンパクトな流量計を開発できれば、既設弁室を利用でき、流量計の整備が容易になります。



配水管への流量計設置状況

3 こんな技術を求めています！

- 超音波を用いた管内流速計測技術
- 機器のコンパクト化

※ 当局では課題解決に資する関連特許を共同で保有しています。